

2011/3 BUSINESS REPORT

第86期報告書

2010年4月1日～2011年3月31日

 **日本高周波鋼業株式会社**

証券コード：5476



代表取締役社長

大西功一

変化するグローバル市場にあって、「魅力ある製品の提供」を継続してまいります。

日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本年3月の東日本大震災により、被災された株主の皆様には心からお見舞い申し上げます。

さて、第86期の決算を終了いたしましたので、ここに当期の営業の概況をご報告申し上げます。

売上高

(前年同期比) 34.1%増

39,822 百万円

営業利益

前年同期は1,875百万円の損失

851 百万円

経常利益

前年同期は2,003百万円の損失

847 百万円

当期純利益

前年同期は2,043百万円の損失

828 百万円

1株当たり当期純利益

5円65銭

●事業の経過およびその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、経済対策の効果や海外経済の伸長に伴う輸出の増加等により、緩やかに回復してまいりました。本年3月11日に発生した東日本大震災及び原発事故により、企業活動や個人消費に一部落込みがありました。年度を通じ、総じて回復基調で推移しました。

鉄鋼業界におきましては、震災の影響もあり、3月は前年同月比で17ヶ月振りの減少となりましたが、年間の粗鋼生産量は前年度に比べ14.8%増加して、11,077万トンとなり、2年振りに1億トン台を回復しました。

注記事項 ※本報告書は平成23年4月28日発表の決算短信の数値、文章を基に作成しております。その後公表される可能性がある訂正情報や業績予想の修正情報や決算の詳細につきましては金融庁EDINET、当社ホームページ「IR情報」掲載資料にてご確認ください。

特殊鋼業界におきましても、3月は前年同月比で16ヶ月振りの減少となりましたが、年間の特殊鋼熱間圧延鋼材の生産量は前年度に比べ33.1%増加して2,092万トンとなりました。

このような経済環境のもと、当社グループは需要の増加に対応する生産体制を整えるとともに、コスト改善に取り組んだ結果、一部震災による損失はあったものの、当連結会計年度の業績は売上高39,822百万円（前年同期比34.1%増）、営業利益851百万円（前年同期は1,875百万円の損失）、経常利益847百万円（前年同期は2,003百万円の損失）、当期純利益828百万円（前年同期は2,043百万円の損失）となりました。

●対処すべき課題

日本経済につきましては、リーマンショック以降国内需要の回復と堅調な輸出により、緩やかながらも回復を維持してきました。しかしながら、この度の東日本大震災による日本経済への影響は大きく、今後の見通しにつきましては不透明といわざるを得ません。特に上半期につきましては震災によるマイナス影響は不可避と予想されますが、どの程度の影響となるのか、また下半期以降の回復がどの程度進むのか見通すことが困難な状況にあります。

一方、世界経済の見通しにつきましては、中国や新興国での経済発展に支えられ、引き続き成長を維持すると予想されますが、これに伴う鉄スク

ラップや合金鉄価格の上昇懸念があります。また中近東地区での政情不安により、石油を始めとした燃料価格が上昇基調に推移すると想定されます。

当社グループとしては不透明な事業環境を見極めつつ、営業、生産面でタイムリーかつ柔軟に対応し、最大収益の確保に取り組む考えです。原料価格の上昇に対しては徹底したコストダウンを図るとともに、同時に販売価格への転嫁を進めていきます。加えて、中期課題である製品構成の高度化、中国や新興国を中心とした海外向けビジネスの拡大、特殊鋼業界でのナンバーワンQCD（注）の構築に取り組み、事業基盤の強化に努めてまいります。

当社グループは行動規範である「社会と共生し、信頼される企業グループを目指す」を念頭におき、安全活動、環境保全、防災対策、人材育成を通じてCSR（企業の社会的責任）活動の推進を実施してまいります。

また今後とも、法令遵守の徹底、リスク管理体制の強化を図ることで、株主、顧客の皆様の信頼に応えられる企業になるべく努力してまいります。

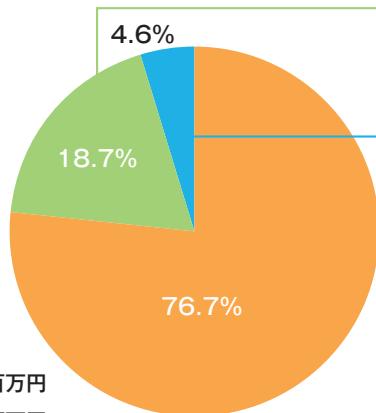
株主の皆様には今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月

（注）QCD=Q=Quality（品質）、C=Cost（価格）、D=Delivery（納期）

セグメント別概況

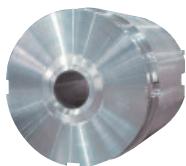
売上高構成比



- 特殊鋼 30,525百万円
- 鋳鉄 7,451百万円
- 金型・工具 1,845百万円

●特殊鋼部門 30,525百万円 (76.7%)

HDD（ハードディスクドライブ）向けや自動車関連需要が堅調に推移したことに加え、産業機械向けの需要が回復したことなどにより数量が増加し、当連結会計年度の売上高は30,525百万円（前年同期比30.7%増）となりました。営業利益につきましては、販売数量の増加と需要環境の変化に対応する生産体制の整備やコスト改善活動に取り組んだ結果、345百万円（前年同期は1,878百万円の損失）となりました。



コンテナタイヤ



特殊合金線

●鋳鉄部門 7,451百万円 (18.7%)

主力の需要業界であるトラック、建設機械、産業機械向けが堅調に推移したことや新規拡販等により、当連結会計年度の売上高は7,451百万円（前年同期比52.2%増）となりました。営業利益につきましては、一部震災影響による生産減、出荷調整があったものの、年度を通じて高水準な生産が継続できたことやコストダウン効果もあり、467百万円（前年同期比172.2%増）となりました。



射出成型機部品

●金型・工具部門 1,845百万円 (4.6%)

自動車・建設機械関連の需要回復に伴う金型部品や関連工具の受注回復により、当連結会計年度の売上高は1,845百万円（前年同期比28.1%増）となり、営業利益は38百万円（前年同期は168百万円の損失）となりました。



特殊工具製品

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	平成22年度 (平成22年3月31日現在)	平成21年度 (平成22年3月31日現在)
資産の部	41,773	39,693
流動資産	21,828	19,068
現金及び預金	188	120
預け金	481	665
受取手形及び売掛金	8,669	6,648
製品	2,578	2,742
仕掛品	5,640	5,141
原材料及び貯蔵品	3,881	3,314
その他	403	443
貸倒引当金	△13	△8
固定資産	19,944	20,625
有形固定資産	18,396	19,190
建物及び構築物	3,382	3,601
機械装置及び運搬具	6,120	6,711
土地	8,507	8,507
その他	386	369
無形固定資産	86	106
投資その他の資産	1,461	1,328
投資有価証券	940	974
その他	554	391
貸倒引当金	△33	△37
資産合計	41,773	39,693

	平成22年度 (平成22年3月31日現在)	平成21年度 (平成22年3月31日現在)
負債の部	23,436	22,160
流動負債	16,966	15,405
支払手形及び買掛金	7,993	5,659
短期借入金	5,877	7,215
長期借入金 (1年内返済)	86	16
その他	3,009	2,513
固定負債	6,469	6,754
退職給付引当金	3,180	3,436
土地再評価に係る 繰延税金負債	2,370	2,370
その他	917	946
純資産の部	18,336	17,533
株主資本	17,469	16,644
資本金	15,669	15,669
資本剰余金	1,728	1,728
利益剰余金	105	△723
自己株式	△33	△30
その他の包括利益累計額	866	888
その他有価証券 評価差額金	132	154
土地再評価差額金	734	734
負債・純資産合計	41,773	39,693

(注) 金額は百万円未満の端数を切り捨てております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	平成22年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	平成21年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売上高	39,822	29,691
売上原価	35,550	28,321
販売費及び一般管理費	3,420	3,245
営業利益又は営業損失(△)	851	△1,875
営業外収益	246	427
営業外費用	250	554
経常利益又は経常損失(△)	847	△2,003
特別利益	5	5
特別損失	196	330
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	656	△2,329
法人税、住民税及び事業税	65	41
法人税等調整額	△238	△327
当期純利益又は当期純損失(△)	828	△2,043

(注) 金額は百万円未満の端数を切り捨てております。

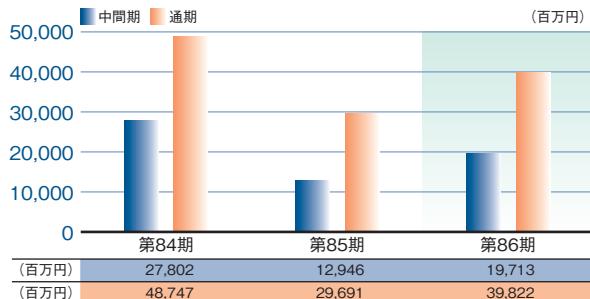
連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

	平成22年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	平成21年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,944	△248
投資活動による キャッシュ・フロー	△780	△1,141
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,280	1,941
現金及び現金同等物 の増減額(減少△)	△116	550
現金及び現金同等物 の期首残高	786	235
現金及び現金同等物 の期末残高	669	786

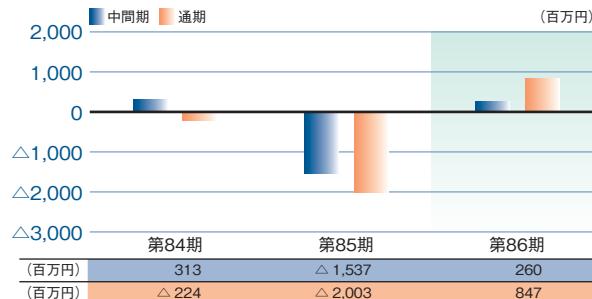
(注) 金額は百万円未満の端数を切り捨てております。

業績の推移（連結）

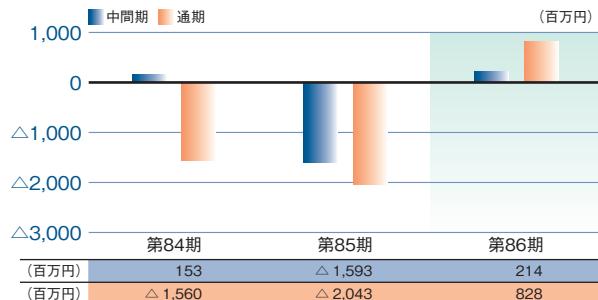
売上高



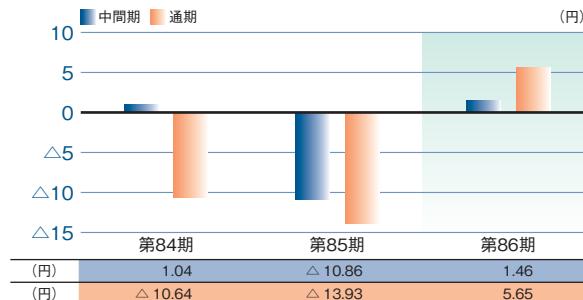
経常損益



当期純損益



1株当たり当期純損益



トピックス

ハイテン鋼板成形用プレス金型の寿命向上へのチャレンジ

自動車の燃費改善と衝突安全性の向上のために、軽く強い高強度鋼板（ハイテン）の使用が増加しています。ハイテン鋼板のプレス成形は難しく、特に、厚い板を複雑な形状に成形する際に用いられる金型は寿命が短く、ハイテン化の推進を阻害しています。

神鋼グループでは、ハイテン鋼板の薄板技術、硬質表面被膜処理技術、金型用工具鋼の技術などグループ内に蓄積された技術を集結して、この課題に取り組んで参りました。

この取組みの具現化のために、株式会社カムスの中部テク

ノセンターで、2008年秋から金型の表面処理事業を開始し、ハイテン鋼板の成形に最適な表面被膜処理技術の開発を進め、新被膜『マカオンコート/KS-G』を完成しました。

この技術に一早く着目した大手自動車メーカーにて評価試験を推進した結果、既存表面被膜の4～5倍の耐久性が確認され、『マカオンコート/KS-G』の正式採用に到りました。

この成果を基に、当社は金型素材から熱処理、表面被膜処理の一貫サービス体制を充実させ、自動車の軽量化、安全性の改善に貢献して参ります。

会社データ

会社概要 (平成23年3月31日現在)

会社名	日本高周波銅業株式会社		
設立	昭和25年5月18日		
資本金	156億69百万円		
所在地	〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-5 TMMビル8階 TEL 03-5687-6023 (代) FAX 03-5687-6047		
上場	東京証券取引所1部上場		
売上高	連結	398億22百万円	(平成22年度実績)
	単体	285億89百万円	(平成22年度実績)
代表者	代表取締役社長 大西 功一		
従業員数	連結	1,088名	
	単体	492名	
事業内容	高級特殊銅および超合金の製造販売 各種高級特殊銅および超合金の線・棒・鍛造品・加工品、冷間圧造品		
主要取引銀行	みずほコーポレート、三井住友、三菱東京UFJ、みずほ信託、三菱UFJ信託、富山第一		

役員 (平成23年6月28日現在)

代表取締役社長	大西 功一
代表取締役専務	田中 慶壽
専務取締役	永尾 卓己
常務取締役	古瀬 司
常務取締役	林田 敬一
常務取締役	久留島 靖章
取締役	山名 壽
取締役	平賀 範明
監査役	緒方 民生一
監査役	竹内 誠一
監査役	田淵 啓仁
監査役	西村 悟

(注) 1. 平賀 範明氏は社外取締役であります。
2. 田淵 啓仁、西村 悟の両氏は社外監査役であります。

株式データ (平成23年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	240,000,000株
発行済株式の総数 (自己株式260,334株を除く)	146,615,840株
株主数	15,213名

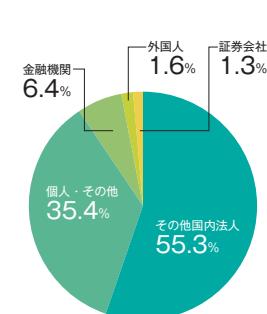
大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社神戸製鋼所	75,753	51.67
浅井産業株式会社	2,712	1.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,606	1.10
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,430	0.98
豊田通商株式会社	1,100	0.75
多田 勉	698	0.48
日本証券金融株式会社	694	0.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口1)	629	0.43
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口6)	558	0.38
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口3)	555	0.38

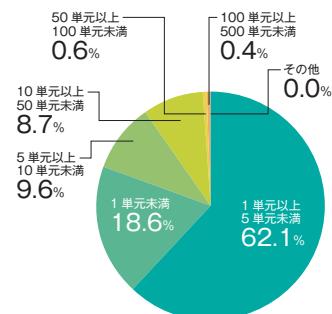
(注) 持株比率は自己株式 (260千株) を控除して計算をしております。

株式分布状況

●所有者別株式数



●所有単元数別株主数



事業所

■本社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-5 TMMビル8階
TEL 03-5687-6023 (代) FAX 03-5687-6047

■大阪支店

〒530-0022 大阪府大阪市北区浪花町12-24 赤坂天六ビル7階
TEL 06-4802-1480 (代) FAX 06-4802-1481

■名古屋支店

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-20-25 広小路YMDビル8階
TEL 052-232-3410 FAX 052-232-3413

■北関東営業所

〒373-0014 群馬県太田市植木野町328
TEL 0276-20-5071 FAX 0276-20-5072

■Bangkok Liaison Office

39/9Rama 3Rd., Chongnonsee, Yannawa, Bangkok 10120, Thailand
TEL 66-2294-9258 FAX 66-2294-9260

■上海事務所

上海市徐匯区肇嘉浜路777号 青松城大酒店7階707号
TEL 86-21-6443-5402 / 5404 FAX 86-21-6443-5407

■富山製造所

〒934-8502 富山県射水市八幡町3-10-15
TEL 0766-84-3181 (代) FAX 0766-84-3468

グループ会社

■高周波鑄造株式会社

〒031-0071 青森県八戸市沼館4-7-108
TEL 0178-43-0127 FAX 0178-22-2468

■高周波精密株式会社

〒272-0003 千葉県市川市東浜1-1
TEL 047-328-3201 FAX 047-328-6797

■株式会社カムス

〒373-0014 群馬県太田市植木野町328
TEL 0276-40-5005 FAX 0276-40-5008

■エヌケイ精工株式会社

〒934-0025 富山県射水市八幡町3-10-15
TEL 0766-84-3175 FAX 0766-84-3137

■株式会社東北コアセンター

〒031-0071 青森県八戸市沼館4-7-108 高周波鑄造内
TEL 0178-46-1856 FAX 0178-43-0153

■Alloy Tool Steel, Inc

13525 East Freeway Drive, Santa Fe Springs, California, 90670-5686 U.S.A
TEL 562-921-8605 FAX 562-802-1728

■株式会社北熟

〒930-0106 富山県富山市高木西115
TEL 076-436-1377 FAX 076-436-1394

株主×モ

事業年度 毎年4月1日から3月31日まで

定時株主総会 毎年6月中に開催

株主名簿管理人 〒103-8670 東京都中央区八重洲1-2-1

事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社本店証券代行部

1単元の株式数 1,000株

公告方法 電子公告により行います。
公告掲載URL <http://www.koshuha.co.jp>
ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります	0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店

当社のホームページでも詳しい情報を同時に開示しております。ぜひ併せてご覧ください。

<http://www.koshuha.co.jp>

日本高周波

検索



TOPページ



IRトップページ